

## シラバスの内容・構成について

### 項目

|              |  |
|--------------|--|
| 〔科目名〕        | 開講する授業科目名を記載した。  |
| 〔ナンバリング〕     | 授業科目の教育課程上の位置づけ（どの分野の授業科目か、といった科目の所在地）や単位の取扱い（必修、選択など）等を把握できるよう、ナンバリングを記載した。           |
| 〔単位数〕        | 授業科目の単位数を記載した。   |
| 〔学科〕（専門科目のみ） | 開講している学科を記載した。   |
| 〔年次〕         | 履修可能となる年次を記載した。  |
| 〔期間〕         | 授業科目の開講期間を、前期・後期・通年のいずれかで記載した。   |
| 〔担当者〕        | 当該授業科目の担当者の氏名を記載した。<br>複数担当や非常勤講師が担当する場合は、省略されていることもある。<br><br>クラス毎の担当者は、授業時間割を参照すること。 |
| 〔授業のねらい・概要〕  | 授業の概要、学習目標、授業形態等を記載した。   |
| 〔CSコース〕      | CSコース関連科目について、学修・教育目標達成度判定基準と科目の対応を記載した。   |
| 〔スパイラル型教育〕   | 該当科目について、対応育成能力と教育目標を記載した。   |
| 〔授業計画〕       | 授業開始から終了までの実施スケジュールおよび予習・復習事項の指示を記載した。<br>半期（前期または後期）の場合は、15回、通年の場合は、30回を目安とした。        |
| 〔到達目標〕       | 到達目標および達成度の判定基準を記載した。  |

|           |  |
|-----------|--|
| 〔評価方法〕    | 到達目標に対する具体的な評価方法を記載した。   |
| 〔成績評価基準〕  | 到達目標の達成度による成績の評価基準を示した。  |
| 〔評価割合〕    | 評価項目の割合を記載した。  |
| 〔教科書〕     | 常時使用する教材（配付プリントを含む）を示している。   |
| 〔参考書〕     | 補助教材を示している。  |
| 〔受講心得〕    | 授業を受けるにあたっての学生諸君への要望、予習・復習事項の指示、担当者の専門分野の紹介、また必要な予備知識などを記載した。                                  |
| 〔オフィスアワー〕 | 授業を受けるにあたっての学生諸君からの質問や相談内容に応じるために教員が各自設定した曜日・時限・場所を記載した。                                       |
| 〔実践的教育〕   | 担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務<br>経<br>験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目に<br>つ<br>いては、その授業概要を記載した。 |

## 構成

このシラバスは「共通科目」「キャリア科目」「専門科目」「教職課程」の4部で構成されている。

「共通科目」…全学科を対象として開講する科目を記載した。

「キャリア科目」…全学科を対象として開講する科目を記載した（2018年度以降入学生適用）。

「専門科目」…各学科において開講されている科目を記載した。

開講の対象となる学科は、〔学科〕の項目において区別されている。

同名の科目において、開講内容が異なる科目については、前述の項目

〔学科〕〔担当者〕により区別されているので注意すること。

「教職課程」…教職免許状を取得するための教職課程を受講する学生を対象として開講する科目を記載した。